

定例記者会見報告事項 (平成 24 年 9 月 27 日)

担当課	商工農政課
電話番号	47-1049

事業名等	2012 全国コットンサミット in 境港市の開催について
------	-------------------------------

1. 事業の概要

国産綿花の主要栽培地である境港市において、全国の綿栽培地域、団体や繊維産業に携わる関係者が一堂に会し、意見発表、情報交換を行う「2012 全国コットンサミット in 境港市」を開催する。

伯州綿の綿栽培見学ツアーや伯州綿を使ったワークショップ、綿・繊維関係の専門家によるパネルディスカッション、全国各地の綿栽培活動の報告等を行う。

サミット全体会参加者には先着 510 名に【伯州綿×反木綿バッジ】のプレゼント、お昼には境港名物「カニ汁」のふるまい、などの特典あり。

なお、全国コットンサミットは平成 23 年度に第 1 回を大阪府岸和田市で開催しており、今回が 2 回目。

- ◇名称 「2012 全国コットンサミット in 境港市」
- ◇開催期日 平成 24 年 10 月 13 日 (土)
- ◇開催場所 境港市民会館 (鳥取県境港市上道町 3000 番地)
- ◇内容 下記のとおり (詳細は別添チラシ、詳細スケジュール参照)

期 日/場 所	時 間	内 容
10月13日(土) <プロローグ> 境港市民会館 伯州綿栽培畑	10:00~12:00	ワークショップの開催
	10:00~13:00	綿畑の見学
<全体会> 境港市民会館	12:00~13:30	開 場 (飲食ブース販売、展示ブースの見学、交流)
	13:30~17:30	第 1 部 パネルディスカッション 第 2 部 活動報告 (東北コットンプロジェクト、全国の栽培地)
<交流・懇親会> 由志園	18:30~20:00	名刺・交流会、マイクリレー (各地の取組み)

2. 事業開催の経過、目的

かつては、日本各地で栽培され、織物にして普段着として、中綿で布団として日常の生活で使われていた国産綿花は外国産綿花の流入により、すっかり姿を消した。綿花自給率は限りなく「ゼロ」に近い。国の統計からも「綿花」の項目は削除され、綿を栽培、加工し、使用する文化も忘れられつつある。

このような状況の中、全国各地でもう一度綿の栽培、文化を見直す動きが出始めている。

境港市においても、かつて市内一帯で栽培され、北前船によって全国にブランド綿として名を馳せた「伯州綿（はくしゅうめん）」について、平成21年度から復活を目指し本格栽培に取り組み始め、今年度の栽培面積は2.6ヘクタールに拡大。

そこで、このたび国産綿花の主要栽培地である境港市において、サミットを開催することで、国産綿花の持つ大きな可能性を探り、国産綿花を見つめ直すきっかけとなるイベントとし、このサミットを通じ、伯州綿の魅力と価値を全国に発信する。